

2022年3月23日

2022年度前期の授業について

文学部・文学研究科

3月16日深夜にM7.4の地震が発生しました。大きな地震でしたが、学生・教職員の大きな人的被害は報告されていないのは、不幸中の幸いでした。大学の建物・施設も概ね健在ですが、大教室で天井の破損などの被害が出ており、しばらくは使用できない可能性があります。

一方、新型コロナウイルス感染も、第6波が沈静化に向かっているとはいえ、いまだ予断を許さない状況にあります。

このような中、4月1日から新学期が始まります。文学部・文学研究科では、全学の方針および過去2年間の経験を踏まえ、次のように学部専門課程および大学院の授業を実施します。

【参考】BCP=新型コロナウイルス感染拡大防止のための東北大学の行動指針

http://www.tohoku.ac.jp/japanese/newimg/pressimg/news20210818_01.pdf

*感染状況に応じて、東北大学における教育・研究活動をどのように継続していくかを示した指針です。必ず確認してください。

1. 基本方針（原則）

基本的に2021年度後期と同じ方針で授業を実施します。すなわちBCPレベル2以下の場合、対面授業が必須ないし効果が上がるという授業は、感染対策を講じながら対面で実施します。その上で、教室に余裕があれば、その他の授業でも必要に応じて対面を取り入れます。一方、入国できない留学生や対面に支障のある学生については、対面が増えても授業に参加できるように配慮します。BCPレベル3、4になった場合には感染防止を重視し、オンライン授業中心に切り替えます。

2. BCPレベルごとの授業実施方針

1) BCPレベル2以下の場合

実技科目（実験・実習・実技等）は対面で実施する。

演習科目（演習・講読等）は対面で実施する。

講義科目（概論・各論・特論等）はオンラインで実施する。

*対面実施することとしている授業科目においても、授業効果の観点からオンラインが適当である場合はオンラインで実施します。同様の理由で、講義科目であっても対面実施することがあります。

*全学教育科目、他学部・他研究科の開講科目については、それぞれの方針で実施され

ます。

*当面、行動制限が全面的に解除されること（BCPレベルが0となること）は想定していません。

2) BCPレベル3の場合

基本的に、1年次科目、2年次実技科目・演習科目を対面とし、その他はオンライン授業とします。

3) BCPレベル4の場合

すべてオンライン授業となります。

3. 具体的な受講手続き

今後の予定については、別紙「前期授業受講までの流れ」に示しました。4月1日に時間割表を公開します。時間割表には、授業ごとの Google Classroom のクラスコードが記されていますので、それによって各授業の Classroom を見れば、授業方針や形態を知ることができます。その後の手続きについては、「前期授業受講までの流れ」をよく読んでください。なお、4月11～22日は、授業履修の「お試し期間」とし、BCP レベルにかかわらず基本的にオンラインで実施します。対面授業が本格的に始まるのは4月25日からとなります（BCP レベル2以下の場合）。学生の皆さんはそれに合わせて準備をお願いします（実験・実習・実技科目では、それより前から対面で実施されるものもあります。Classroom の指示に従ってください）。

4. その他

1) 集中講義

別途連絡します。

2) 研究室など施設の使用について

文学部・文学研究科では、研究室など施設の使用についてガイドラインを作成し、学生の皆さんに遵守してもらっています。ガイドラインは以下の文学部・文学研究科ウェブサイトで見ることができます。

<https://www.sal.tohoku.ac.jp/jp/news/covid19.html>

3) 自学習スペース

以下をオンライン授業受講のための自学習スペースとする予定です。

文学研究科研究棟 1 階東側の学生談話室 文科系総合講義棟のコモンスペース 文科系総合研究棟 11 階大会議室 文学部第 1 講義室・第 2 講義室（授業が行われている時間以外）

ただし、地震の影響で使用できない場合がありますので、追って連絡します。

文学部・文学研究科開講科目
前期授業受講までの流れ（学生向け）

2022年3月23日
文学研究科学務教育室

